

## オーダー装飾建材の菊川工業 自社工場の天井照明を LED 化 省エネを推進し脱炭素社会の実現に貢献

建築物の金属製内外装工事などを手がける菊川工業株式会社（本社：東京都墨田区、代表取締役社長：宇津野隆元、以下菊川）は、この度、生産拠点であるキクカワテクノプラザ（千葉県白井市）の工場3棟の天井照明について、LED照明への完全切替を実施しました。2025年2月11日に工事が完了し、翌日より正式に稼働開始しています。天井照明のLED化により省エネを推進し、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。



▲天井にLED照明を設置した工場

### ■ 照明 LED 化のメリット

- 従来の水銀灯使用時に比べ、工場3棟全体で消費電力約73%削減
- 水銀灯より光源寿命が長く、省メンテナンスおよびランニングコスト削減
- 球切れや故障時の保守対応ができないリスクを回避（水銀灯は国際条約<sup>\*1</sup>により生産中止）

### ■ 照明 LED 化の経緯

1970～90年代に建てられた菊川の工場では、天井照明として水銀灯を使用していました。しかし、水銀灯の新規購入ができなくなったことや、脱炭素やSDGsといった環境に配慮した生産活動が企業に求められていることを受け、今回、工場3棟で合計約300個の天井照明を、省エネ効果の高いLED照明に全て切り替える改修工事を実施しました。なお、今回の照明LED化工事は、「令和6年度千葉県業務用設備等脱炭素化促進事業補助金<sup>\*2</sup>」を活用しています。

### ■ 工場照明に関するその他の省エネ施策



菊川では以前から、「タスク・アンビエント照明<sup>\*3</sup>」を工場に導入しています。無駄な電力消費を抑えて省エネにつなげるとともに、快適な作業環境を整えることで生産性や品質の向上にも寄与します。天井照明のLED化と合わせ、この取組みも継続していきます。

◀天井照明とは別に、各作業場にタスク照明を設置し適切な明るさを確保

\*1 「水銀に関する水俣条約」2013年に締結。2021年から高圧水銀ランプの製造・輸出入が禁止となった。

\*2 「令和6年度千葉県業務用設備等脱炭素化促進事業補助金」千葉県内で事業を行う中小事業者等を対象に、脱炭素化に向けた設備導入費用や省エネ診断費用の一部を補助する制度。菊川は2024年11月20日に本補助金の交付決定を受けた。

\*3 「タスク・アンビエント照明」部屋全体を均一に明るくするのではなく、全体の明るさは適度に抑えつつ、作業場所や作業対象に応じて必要な部分だけ明るくする手法。

### ■ 会社概要

菊川工業は1933年創業のオーダーメイド建材メーカーです。創業以来、時代をリードする国内外の建築物に果敢に挑戦しています。最近の施工例として、麻布台ヒルズ大屋根パネルなどがあります。

[社名] 菊川工業 株式会社

[代表者] 宇津野 隆元（うつの ながまさ）

[所在地] 本社：東京都墨田区菊川 2-18-12

[従業員数] 178名（2024年12月21日現在）

工場：千葉県白井市中 98-15

[URL] <https://www.kikukawa.com/>

◀本件に関するお問合せは下記までお願いいたします▶

キクカワホールディングス株式会社 総務部 広報チーム 担当 渡邊

TEL：047-492-0144 E-mail：web@kikukawa.com